島根県益田市二川地区

地域づくりのテーマ: 自然とともに 人とともに生きる 温もりある二川



①地区の概要

【地区の現況】(令和5年1月末時点) 人口170人 高齢化率61.2% 世帯数92世帯

【地区の魅力】

美都温泉、道の駅による集客に加えて、柴犬の聖地として新しい人の流れができつつあります。令和5年度からは宿泊交流センターの運営が始まり、人をとどめてつなげる拠点として活用していきます。

【地区の課題】

高齢化により地域で受け継がれてきた生活の知恵が引き継がれることなく消滅しつつあります。また、地域行事に関わる人材不足も深刻で、関係人口の創出が急務です。

②実施団体の概要 【団体の名称】

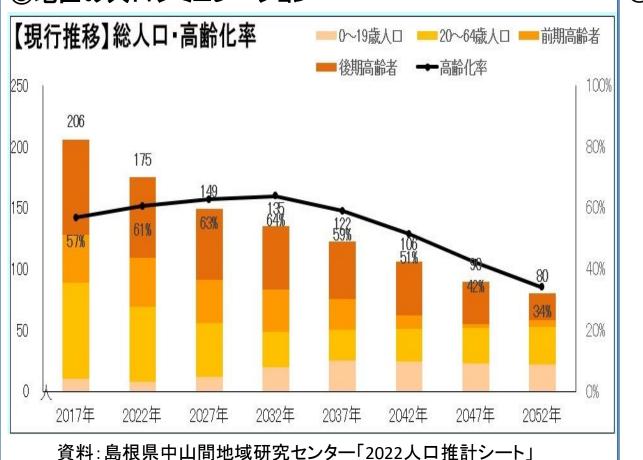
一般社団法人 ぬくもりの里二川

【構成団体、構成員】

自治会 婦人会 双寿会(老人クラブ) (株)エイト 二川やるき人間の会 営農組合「一心田助」 蓬の会(加エグループ) 公民館運営委員 地区住民

社員総会 【団体の組織図】 議決権 理事← 監事 運営委員会 まちづくり部門 施設管理部門↩ 賑やかし部会 ええまち部会 特産部会↩ 宿直者↩ 清掃者↩ 周辺整備↩ 地域の← 地域の← 住みやすく↩ 部会↩ 部会↩ 部会↩ 賑わいを↩ 魅力を↩ するための↩ 共助機能← 創る←

③地区の人口シミュレーション



④地域の魅力化に向けた取組

- ①住民の住みやすさ 買い物支援 外出の機会創出 困りごと相談
- ②地域の賑わい 温泉モーニング イベントでの出店販売
- ③特産 地域にあるものを活かした体験作り 柴犬の里の整備



【団体長メッセージ】

来年度より運営する宿泊交流センターは、二川地区にもたらすメリットだけでなく、市内全域の 交流や関係人口が増えるための施設として活用していきます。地域へのご協力のお願いとと もに、近隣のみなさまにもご利用と、活用方法のご提案をお待ちしております。

島根県益田市二川地区

ZIL TAPEL

⑤こんなことが話し合われています



【運営方法の協議】 宿泊交流センターと公民館 の複合施設となる「ぬくもり の里」の具体的な運営のため、組織を一般社団法人化 し、地域の一人ひとりが意見 が述べられる会員・費制度と



【地産地消に向けて】 宿泊者の自炊が増える よう、島根県立大学看護 栄養学部の方と地元食 材を使った食事メニュー を考えています。

【関係団体と施設活用について】 地域自治組織の役割のひとつである分 野横断の連携。美都森林の農業分野を 生かした体験、道の駅の広報協力、美 都温泉や食堂の利用、グリーンひだま り利用者とのつながりができました。



⑥こんな地域づくりを行なっています



【団体とコラボした魅力的な体験】

地域の魅力の再発見と発信として行っていた体験事業を再開。アウトドア意識の高揚や感染対策として、うずめ飯と羽釜 炊飯の屋外調理を行いました。

よもぎのおやきを作る「蓬の会」とコラボした、うずめ飯作り体験を開催しました。

美都森林で所有される柚子畑での収穫 体験の後、地元でゆずみそを作る人から 習う体験を行いました。



【うずめ飯をとことん活用】



地域自治組織の立ち上 げ以来継続している、美 都温泉でのモーニング。 月一度の交流の場とし て地域内外の人に定着 してきました。ポイント カードの発行による美都 温泉入浴も好評です。

今年度は道の駅サンエイト美都のイベントでも出店できました。

スタンプラリーの設置

美都温泉・道の駅・双川峡・石 号記念館を巡ることで、ポスト カードを作ることができます。

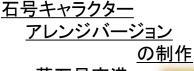


【周遊効果】

新しい地域資源として育てている柴犬の祖犬「石号」の存在。NHKや旅番組、柴犬専門誌などで取り上げられるたび石号記念館への来館者が増えています。また、長期立ち入ることができなかった双川峡が復旧しました。

その来訪者が温泉などの施設利用へと つながるよう、またその逆も、限られた地 域の魅力をつなぐ事業を行っています。





- •萩石見空港
- •美都温泉
- ・道の駅
- •郵便局
- •石号記念館



お問い合わせ先

〒698-0202 島根県益田市美都町宇津川口386-3 益田市二川公民館内 一般社団法人 ぬくもりの里二川 事務局

TEL:0856-52-2241

ホームページ: http://nukumori-sato.main.jp/ メールアドレス: nukumori-sato@maro-v.jp